

公 表 日

令和 元年 5月 8日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成31年度融雪型火山泥流氾濫プログラム高速化検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 九州技術事務所長 坂元 浩二 福岡県久留米市高野1丁目3-1
契約年月日	令和 元年 5月 8日
契約業者名	(一財)砂防・地すべり技術センター
契約業者の住所	東京都千代田区平河町2-7-5
契約金額	25,410,000円(税込み)
予定価格	25,421,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	九州技術事務所
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 元年 5月 9日
履行期間(至)	令和 元年11月29日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

随意契約理由書

1. 件名 平成31年度融雪型火山泥流氾濫プログラム高速化検討業務
2. 履行場所 九州技術事務所
3. 随意契約の相手方 住所：東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館 5階
法人名：一般財団法人 砂防・地すべり技術センター
電話：03-5276-3275
4. 随意契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該工事（業務）の目的・内容及び随意契約に付する理由

1) 当該工事（業務）の目的

本業務は、火山活動により地形変化が生じた場合等において、融雪型火山泥流による氾濫シミュレーション計算を速やかに行うために、融雪型火山泥流の計算プログラムを改良し、火山噴火リアルタイムハザードマップシステムのシミュレーション部を高速化するものである。

2) 工事（業務）の内容

本業務は、①計画準備…1式、②高速化方法の検討…1式、③火山泥流の計算プログラム修正…1式、④高速化…1式、⑤計算プログラムの精査・検証…1式、⑥報告書作成…1式を行うものである。

3) 随意契約に付する理由

本業務の契約方式は、契約の相手方と特命随意契約を取り結ぶ方式である。火山噴火緊急減災対策砂防計画策定ガイドライン(H19.4)に基づいて、平成25年に国土交通省で火山噴火時のシミュレーションシステムとして、リアルタイムハザードマップシステム（以下RTHMシステムという）を開発した。

なお、RTHMシステムには、（一財）砂防・地すべり技術センターが独自に開発した氾濫計算プログラム（J-SAS）を内装している。しかも、（一財）砂防・地すべり技術センターは、氾濫計算プログラム（J-SAS）について唯一整備・提供している。この氾濫計算プログラム（J-SAS）の著作権は、（一財）砂防・地すべり技術センターが保有している。よって、（一財）砂防・地すべり技術センターが本業務に対応できる唯一の機関である。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により上記法人と契約を締結するものである。

（随意契約理由書作成者）

九州技術事務所 火山防災減災課長